

# いあん若葉通信



発行日：2026年06月14日  
 編集&発行：ゆめの園若葉広報  
 電話：03-3935-5780  
 FAX：03-3935-5790

No. 087



## 3階三、四丁目

実施前にお手本をお見せすると、「こんなのを作るんだね」と楽しみにされる声が多く聞かれました。好きな色を選び、切り込みを入れてカーネーションらしく仕上げる細かな作業でしたが、皆さま笑顔で取り組まれていました。完成品は食席や居室に飾られ、大変喜ばれていました。

## 2階三、四丁目

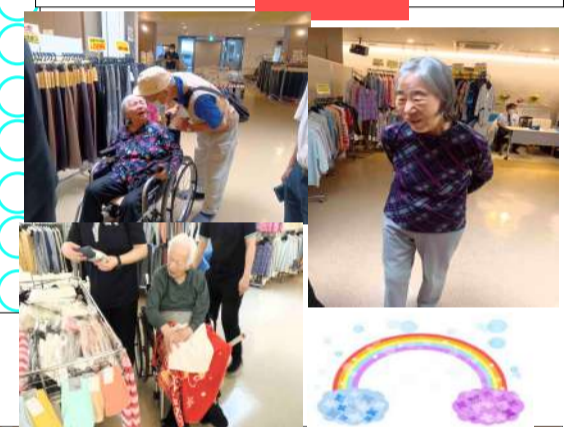
レーを行いました。皆さん笑顔で声を出し合いながら遊ばれていました。『またやりたいね』などの声も聞かれています。

3丁目に3.4丁目の参加できるご入居者様に集まって頂き風船ハ

## 入梅の候

梅雨に入り、紫陽花がきれいに咲く季節となりました。日頃より、いあん若葉の運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。気温や湿度が高くなる時期ですので、施設では室温管理や水分補給に注意しながら、ご入居者の皆さまが安心して過ごせるよう支援しております。雨の日が続きますが、館内でも季節を感じていただけるよう工夫してまいります。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

被服販売



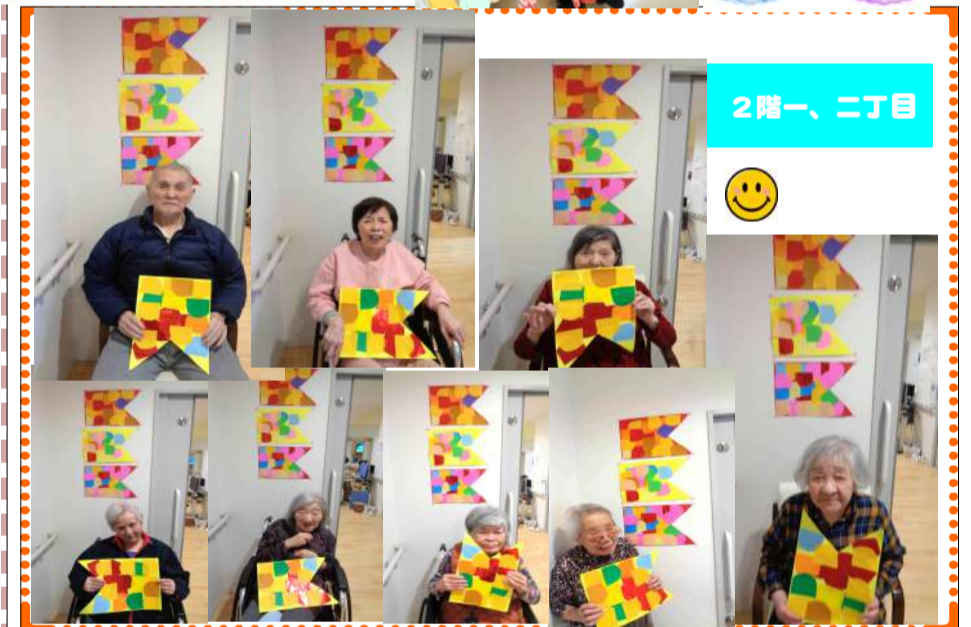
## 4階三、四丁目

「塗り絵なんて久しぶりにやるわ」とおっしゃり皆さん思い思いに色を選び上手にとても綺麗に塗られ、それぞれお部屋にかざりました。



## 3階一、二丁目

午前中にパンのカットや卵液に浸す下ごしらえを行い、午後はホットプレートでフレンチトースト作りを行いました。ご入居者様は手際よく作業され、焼く工程やトッピングも笑顔で楽しまれていました。生クリームやチョコクリームを選びながら「またやりたいね」「次はいつかな？」との声も聞かれ、職員や新入職員との交流、片付けまで協力して行うことができました。



2階一、二丁目



## 5月駅弁と世界の料理

高知県こうしめしは、ちりめんじゃこや細かく刻んだ魚を炊き込み、たぐとあんどう海苔を混ぜ込んで、年越しに食べられる郷土料理です。名古屋駅弁味噌カツは、戦後から昭和40年代にかけて名古屋を中心に一気に広がり、食堂や洋食店の定番。街の誇りとして愛され続ける赤味噌の深い香り、コク、そして香ばしさ、そのすべてが重なり合って生まれる味噌カツは、名古屋ならではの味わいです。最後は「黒糖キーマカレー」



## 4階一、二丁目

厚紙で台紙を作り、ご入居者様に折り紙で模様を作っていました。数種類の折り紙から選ばれ、好きな色をお話されたり、ご自身でスティックのりを使用される方もいらっしゃり、利用者様主体のレクになったのではないかと思います。

